

10:30
津軽のカマリ

ドキュメンタリー
最前線 2019
越境する映画

13:30
ザ・ビッグハウス

16:15
台灣萬歳

harappa映画館 #30

会場が変更となりました

スペース デネガ 弘前・上瓦ケ町

2019. 3.9 土

◎チケット取扱
弘前中三、弘前大学生協、まちなか情報センター
コトリカフェ（弘前市立百石町展示館内）

◎チケット入替制
1回券 前売 1000円 当日 1200円
学生・会員500円
3回券 前売 2500円 前売のみの取扱

ドキュメンタリー最前線 2019 / 越境する映画

太平洋戦争以前から、記録映画、文化映画、教育映画と呼ばれ、戦争遂行のためのプロパガンダの役割を担つたこともあるドキュメンタリー映画ですが、戦時中の亀井文夫や1960年代以降の小川紳介、土本典昭たちの作品は、ドキュメンタリー映画の多様な可能性を私たちに示しました。今や、優れたドキュメンタリー映画を見ることは、世界で現在起こっていることと真摯に向き合うことにはかなりません。

第30回 harappa 映画館「ドキュメンタリー最前線 2019 越境する映画」では、3人のドキュメンタリー映画作家の映画を上映します。大西功一監督の『津軽のカマリ』では、国内外に衝撃を与えた津軽三味線の巨星、初代高橋竹山の演奏が観客を圧倒します。『ザ・ビッグハウス』で、観察映画の旗手・想田和弘監督はアメリカン・フットボールのスタジアムを舞台に、アメリカの現在を描きます。酒井充子監督の『台湾萬歳』は、日本による支配、国民党による支配を経てもなお変わらない、現在の台湾を描く人間讃歌です。

この機会に、軽々と越境していく映画とシネマトークをお楽しみください。

津軽のカマリ 10:30



監督・製作・撮影
大西功一

2018年 | 日本 |
上映時間 / 104分

(C) 2018 Koichi Onishi

20年前、津軽の十三湖を訪れた大西功一は、いつか津軽を舞台にした映画を撮ろうと思った。沖縄宮古諸島の老人たちが記憶する古謡に焦点を当てた『スケッチ・オブ・ミマーク』(12年)を経て、その思いが実現した。大西は初代高橋竹山の生涯を通して、津軽の風土を描くことを試みた。初代竹山の演奏に圧倒されながら、観客は朴訥とした彼の語りに、初代が過ごした苦難の時間を知る。さらに映画は、二代目高橋竹山を容易に受け入れない津軽の精神風土も明らかにする。

台湾萬歳 16:15



監督
酒井充子

2017年 | 日本 |
上映時間 / 93分

(C) 『台湾萬歳』マクザム／太秦

多様な民族が暮らす人口約1万5千人の町・台東縣成功鎮。この町を中心とする小宇宙で生きる5人(5組)の人々……畑仕事を日課とする元カジキ漁師の夫と妻、いまも「カジキの突きん棒漁」を営む夫婦、シンガーソングライターでもある中学校の歴史教師、高地の村から強制的に移住させられた経験を話すブヌン族のお年寄り、伝統的な狩りをいまも続ける狩人。彼らの生活を淡々と描く、酒井充子監督「台湾三部作」最終章。

◎ 上映後、酒井監督によるシネマトークあり

【お車でお越しのみなさま】

会場に駐車スペースはございませんので、近隣の有料駐車場、または公共交通機関をご利用下さい。

ザ・ビッグハウス 13:30



監督・製作
想田和弘
マーク・ノーネス
テリー・サリス

2018年 | 米国・日本 |
上映時間 / 119分

(C) 2018 Regents of the University of Michigan

五輪めざして建設中の新国立競技場は、収容人数6万8千人。これに対してミシガンスタジアムは軽く10万人を呑み込んでしまう。「ビッグハウス」といわれるゆえんだ。ここで繰り広げられるフットボールの試合を想田和弘監督率いる17人の撮影隊があらゆる角度から撮りまくる。試合そのものはそっちのけ。チアガールもいればゲロ吐く観客、ダフ屋のおじさん。ぜんぶひつくるめて、これがアメリカだ!という興奮のドキュメンタリー。

ゲスト / 酒井充子『台湾萬歳』監督



山口県周南市出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、メーカー勤務ののち新聞記者となる。98年夏、1本の台湾映画を見て台湾へ行き、バス停でおじいさんに流暢な日本語で話しかけられ、日本人教師の思い出を聞いたのをきっかけに台湾への興味を深めた。監督作品に『台湾人生』(09年)、『空を拓く - 建築家・郭茂林という男』(13年)、『台湾アイデンティティー』(13年)、『ふたつの祖国、ひとつの愛ーイ・ジュンソープの妻ー』(14年)、『台湾萬歳』(17年)、著書に『台湾人生』(10年、文藝春秋。18年、光文社知恵の森文庫)がある。台湾の離島を舞台にした新作を準備中。

【チケット予約】

harappa ウェブサイトの専用フォームからお申込みいただか、または E-mail にて件名を「harappa 映画館」とし、お名前、電話番号、メールアドレス、希望枚数を記載の上、ご予約ください。

E-mail. post@harappa-h.org

npo harappa

